



佐農高だより

～ 汗をかき 人と和して 己を磨く ～

令和5年度 第6号 (令和5年9月発行)

佐賀県立佐賀農業高等学校 校長 外戸口 良文

佐賀県杵島郡白石町大字福田 1660

TEL 0952-84-2611 FAX 0952-71-5009

<http://www.education.saga-ed.jp/hp/saganougyoukoukou/>



朝夕は気温が下がり、徐々に秋らしくなってきました。夏の疲れはとれましたか。8月以来今年は台風の訪れがなく、順調に2学期が滑り出しました。9月16日に就職試験が解禁され、3年生は内定を手につくべく、ありったけの力を発揮して奮闘中です。秋と言えば、勉強、スポーツ、読書、芸術、そして食欲。大いに学び、大いに走り、大いに読み、食べ、秋を満喫しましょう。

2学期が始まりました



9月1日(金)、時折小雨がぱらつく中、2学期の始業式が行われました。外戸口良文校長先生は式辞で、昨年90歳で亡くなられた京セラ創業者の稲盛和夫氏が大切にしていたことについて、氏の功績を交えてお話になりました。稲森氏は、人が持ちうる崇高な心とは、「人のために尽くす心」だと考え、人のためになるかを考えて事業を始められました。『人は誰でも、自分だけが良ければいいという、本能をベースにした利己心と、周囲の人に親切にしたい、人のためになりたいという利他の心をもとに持っている。利己心だけだと、誰の協力も得られず、物事の判断も間違ってしまう。利他の心があれば、周りからの協力が得られ、判断も誤らない。』氏はこのような考えから、現在のauにあたる第二電電の創業、経営破綻した日本航

空(JAL)の再建など、難しいと言われた事業に取り組み、成功を収めました。「人生の目的の一つは『心を高めること』。そのためにはやらねばならないことを懸命に努力せねばならない。そうすると自ずと道は開けてくる。もう一つは『世のため、人のために尽くすこと、すなわち利他の心』。この二つは密接に結びついている。優しさや思いやりだけでは難しいことを成し遂げることはできない。何があっても成し遂げようという熱意と努力がなくてはならない。』晩年には、このような言葉を残しています。

「聞いたことありませんか？」校長先生の問いかけに、ハッとしましたか。佐農のスローガン「汗をかき、人と和して、己を磨く」、これはまさにこのことです。「高校生の今は、まず自らの目標を見据えて、自分のためにこの佐農で精一杯努力し、その中で仲間のため、学校のために行動できるようになってほしい。自分のことを大切にしながら、仲間に対して気を配り、手を差し伸べる。『人に良かれ』の行動で、周りの協力が得られ、正しい判断ができる。いろいろな場面で利他の心を発揮してほしい。」2学期の始めに当たり、校長先生が話された「利他の心」、この言葉を心にとめて、2学期もおおいに頑張らしましょう。

銃剣道全国大会 団体戦で準優勝

7月22日(土)、宮城県岩沼市の岩沼市総合体育館にて第35回高校生銃剣道大会が開催されました。本校銃剣道部は、大会初出場だった昨年を大きく上回る結果を残しました。団体戦では佐農 B チーム(塚本倅大さん・洲上誠太さん・市丸真二さん)が見事準優勝を飾り、また佐藤橋之介さんと川崎大晟さんが佐賀県選抜チームで出場し、5位入賞でした。個人の部は、3年生の部で土井仁太さんが3位、川崎さんが5位、2年生の部は佐藤さんが5位、1年生の部では洲上さんが5位に入賞を果たしました。入賞を果たした面々に大会の感想等を聞きました。



土井仁太さん(A3・大町ひじり)「最後は力負けしましたが、中学からしてきたことの集大成として結果が出せました。国体では優勝して帰ってきたいです。」

川崎大晟さん(A3・白石)「相手との間合いが剣道とは違い、それがまだつかめていません。国体では最後の大会なので頑張ります。」

塚本倅大さん(E2・大浦)「1年生が初めての大きな大会なのに頑張ってくれて、自分も力が出せました。」

佐藤橋之介さん(E2・大浦)「剣道とは道具も技も違いますが、1年の終わりには感覚がつかめてきました。しっかり攻める試合を意識しました。」

洲上誠太さん(E1・江北)「初めての全国大会で、いい成績が出せ、嬉しかったです。基本の表突きが得意です。」

市丸真二さん(E1・武雄)「準優勝して嬉しいというより驚きました。」



アリアケ精機様よりご寄付をいただきました

SDGs私募債とは、私募債発行に掛手数料の一部を、SDGsの達成に資する団体に
対し寄付を行うことを条件とした社債です。少々難しいですが、このたびアリアケ精機様
は、最先端機械の導入に際しての社債発行でこの制度を利用され、その寄付先を本校に
指定してくださいました。9月5日、本校から徒歩10分のところにある同社を外戸口校長
先生がお礼のために訪問されました。

数ある県立高校の中から佐賀農業高校を選んでくださったのは、本校に対して大きな
期待を寄せてくださっているからこそ。本当にありがたいことです。



社長の喜多英明氏(右)

*** 株式会社アリアケ精機とは ***

創業80年を超える、旋盤加工、金属加工メーカー。長年の実績が評価され、東亜工機をはじめ多くの企業
から、船舶用エンジン部品、鋳物製部品加工、医療用機器の部品製作等を受注し、生産を行っている。
幅広い年代の本校卒業の先輩方が活躍されています。

ハウステンボスで英語研修(2年生)



8月29日(火)、2年生のグローバル研究班の27名がハウステンボス・イングリッシュスクエアの英会話体験プログラムに参加しました。この研修は、外国人コーチと英語でコミュニケーションを行うことで、英語学習の意欲、外国への興味・関心を高めることを目的に行われています。

午前のメニューはコーチからの質問に答えること。好きな音楽、スポーツなど自分について一生懸命伝えました。午後は日本文化や著名人、アニメを紹介するというテーマで、知っている単語を駆使し、ジェスチャーを交えて頑張りました。研修後の感想からは、当初の目的が達せられたことが窺えます。その一部をご紹介します。

■楽しかったけれど、理解して話すことの難しさを感じました。他の言語で話す楽しさを知りました。■イギリスに行きたいという目標があるので、さらに勉強しようと思いました。■ネイティブの発音を聞いたり、表現を知ったりしておもしろいなと思った。■まだまだわからない文法や単語がたくさんあったので、もっとしっかり学びたいと思いました。■いろんな国の文化が知りたいと思った。■初めて本物の外国人と話したのですごく楽しかったです。でも、わからない言葉ばかりだったので、もっと話せるように勉強しようと思いました。■アメリカの食べ物の話があって、それを食べてみたいと思いました。■『マネージャー』という言葉が伝わらなかったことにびっくりしました。今後、英語で話し合うことや、英語しか通じないといった場面があると思うので、最低

限のことは話せるようになりたいと思いました。■自分はまったく英語ができないと改めて思い、悔しくなり、このままではだめだと英語学習への意欲が高まりました。そして、外国人のノリと対応力に感心しました。■自分の英語力がよくわかる研修で、とても勉強になったし、すごく楽しめました。半分ぐらいしか理解できなかったけれど、伝えたいことを自分が知っている英語で、試行錯誤しながら言えたのでよかったです。日本と外国では違うところがたくさんあり、それを体験してみたいと思いました。■もっと英語が話せたらすごく便利だし、道を聞かれても教えることができるんだらうなど実感しました。これからたくさん勉強して、今日の自分よりも成長できるように頑張りたいと思いました。



10月行事予定

1日(日) 体育祭予備日	20日(金) 農業クラブ・生徒会 会長選挙
2日(月) 大掃除 学年集会 40分授業 スクールカウンセラー来校日	スクールカウンセラー来校日 タイ子ども大使来校
6日(金) Hyper-QU(1,2年)進路講話(3年) 第2回英語検定	22日(日) 2級土木施工管理技術者試験 24日(火) 農業クラブ全国大会(熊本 ~26日)
11日(水) 中間考査(~13日)	27日(金) 佐農祭前クラス討議
13日(金) 服装頭髪指導	31日(火) 農業クラブ第4回代議員会
16日(月) 海外農業事情視察研修 (オーストラリア ~21日)	

編集後記 昔は今のように ALT がいなかった
ので、私が外国人と話したのは、大学生
になってからです。1年生の秋、スーダ
ンから来たばかりで日本語が話せない留
学生と話す機会に遭遇したのですが、と
てもあがってしまい、「昨日」って言いた
いのに出てきません。簡単な単語なのに…。
それでどうしたかという、「Today」と言
って、カレンダーの昨日の日を指す。す
ると「Yesterday!」と察してくれました。
これでも大学生か…とかなり恥ずかしく、
落ち込みました。 K

